

## 公募委員の選考方法について

### ＜新潟市附属機関等に関する指針＞（抜粋）

（委員の公募）

第6条 略

2 略

3 公募委員の選考については、原則として選考委員会を設置して行うこととし、次の各号に掲げる方法の全部又は一部により行うものとし、選考結果は応募者全員に速やかに通知するものとする。

（1）作文

（2）面接

（3）その他適当と思われる事項

4 略

### 【第6期中央区自治協議会公募委員選考方法について】

- ・小論文（作文）
  - ・活動歴（その他適当と思われる事項）
- } 2点の選考を基本とし、必要に応じて面接

### ◎第7期公募委員の選考方法について（案）

- ・作文は一般的な選考方法として採用されており、指針にも記載されている。
- ・面接の場合、公平性が担保できない可能性がある。

⇒ 一般的な選考方法である「作文」と公共的な活動状況を把握するための「活動歴」を選考方法とする。

### 【作文におけるテーマについて】

#### ＜中央区自治協議会での過去に採用したテーマ＞

- ・「中央区のまちづくりについて思うこと」（H28年度：第6期用）
- ・「中央区への私の思い、やりたいこと」（H26年度：第5期用）
- ・「地域の住みやすいまちづくりへの私の思い」（H24年度：第4期）
- ・「地域のまちづくりでやってきたこと、やっていること、中央区において、区民と区役所の協働について、私の提案と私にできること」（H22年度：第3期用）

### ◎第7期公募委員作文テーマについて（案）

- ・世代を超えて地域活動を広めるための方法について
- ・持続可能な地域活動のために必要な取組みについて
- ・自治協議会委員として取り組んでみたいこと

## 活動歴（様式）（案）

項目	記載欄（自由に記述してください）
これまでの主な活動歴	
これまでに経験した活動の中で、特にアピールしたいこと（活動歴が特にならない場合は、今後どのような活動をしてみたいかをお書きください）	

※ここでの「活動」とは、自治会活動などの地域活動やボランティア活動、行政の附属機関委員としての活動など、営利を目的としない公益的な活動のことを言います。

# 活動歴（様式）（案）

## 記載例

項目	記載欄（自由に記述してください）
<p>これまでの主な活動歴</p>	<p>平成 17 年 高齢者福祉ボランティア団体〇〇加入                      平成 20 年～ 平成 22 年 NPO 法人〇〇理事                      平成 22 年～ 平成 23 年 民生委員                      平成 24 年～ 平成 27 年 新潟市〇〇審議会委員                      平成 28 年～ 〇〇自治会長</p>
<p>これまでに経験した活動の中で、特にアピールしたいこと（活動歴が特にならない場合は、今後どのような活動をしてみたいかをお書きください）</p>	<p>一人暮らしで支援が必要な高齢者の助けになりたいと思い、福祉ボランティア団体に加入しました。具体的には、主に、ごみ捨てや庭木の手入れなどの日常生活の支援を行ってきました。</p> <p>その活動を通じて、高齢者の居場所や話し相手の確保が必要であるとの認識に至り、現在は町内で高齢者サロンを開催しています。高齢者のために始めたサロンですが、そこでは子どもから高齢者までの幅広い世代交流が生まれ、町内に顔が見える関係が築かれるという思わぬ効果が得られました。</p>

※ここでの「活動」とは、自治会活動などの地域活動やボランティア活動、行政の附属機関委員としての活動など、営利を目的としない公益的な活動のことを言います。